



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 互応化学工業株式会社

コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼総務部長 (氏名) 川尻 健生 TEL 0774-46-7777

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,873	0.4	192	10.1	196	10.9	123	7.5
29年3月期第1四半期	1,866	△2.6	174	△13.1	176	△20.5	114	△24.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 145百万円 (554.9%) 29年3月期第1四半期 22百万円 (△86.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	18.91	—
29年3月期第1四半期	17.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	15,892	13,739	86.2
29年3月期	16,258	13,857	85.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 13,704百万円 29年3月期 13,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

30年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,750	1.4	335	△14.4	390	△10.0	290	△8.0	44.41
通期	7,600	2.3	675	△16.5	750	△17.7	540	△13.2	82.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	6,992,000株	29年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	461,515株	29年3月期	461,515株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	6,530,485株	29年3月期1Q	6,530,485株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、好調な欧米経済に支えられ引き続き緩やかな回復基調となりました。しかしながら、英国のEU離脱による影響、新興国経済の先行き不安に加え、地政学的要因の不透明感が拭えない状況も継続しております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、電子材料関連は低調な分野はあるものの、照明や自動車関連分野が好調に推移しました。繊維分野は前期に引き続き横這い、化粧品関連は洗浄剤やメーキャップ分野への展開が進んだものの全体としては低調、製紙印刷分野も前期に引き続き低調に推移しました。その他工業用分野は水溶性ポリエステル樹脂が市場は堅調ながらも在庫調整の影響を受けやや低迷しました。

また、「人そして地球を豊かにするものを社会に提供する」ことを実践するために、組織風土創生にも引き続き取り組んで参りました。この取り組みについては、直ぐに結果に結び付くものではありませんが、長期的な企業の存続と発展を考えると必要不可欠な取組みであり、社内外にその輪を広げながら活動を続けております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績につきまして、売上高は1,873百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は192百万円（同10.1%増）、経常利益は196百万円（同10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は123百万円（同7.5%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で繊維業界は、国内市場が前期に引き続き衣料織物向けは低調も資材織物向けが好調に推移し、ほぼ横這いの結果となりました。また、海外市場においても、主力の中国の繊維市場がやや持ち直したものの、韓国市況の悪化やインドネシア子会社での販売価格の低下により全体として横這いの状況でした。

製紙印刷業界は、デジタル化の流れから広告宣伝媒体の変化や出版物の減少により、ダイレクトメール用圧着ニス、プレス加工用ニスの市場が低迷しました。その中で省エネルギー対応によるUVニスの高感度化や環境対応による圧着ニスの水性化に注力しましたがカバーするには至りませんでした。

化粧品関係は、洗浄剤分野で一部のシャンプー製品の終息により、全体として前年同期を下回ったものの、他の洗浄剤への使用拡大やメーキャップ分野への使用が徐々に進みました。

その他工業用分野は、水溶性ポリエステル樹脂の国内市場で期待した光学フィルム用途が伸び悩みました。また、海外市場の包装材用途は引き続き拡大傾向にあるものの、市場の在庫増加により加工量は踊り場状態にあり全体として低調な結果となりました。また、メッキ関係は、国内市場が自動車と建材分野で好調、海外市場でも軟包装材料分野が堅調に推移しました。転写関係は、国内市場が一般住宅用用途で堅調、輸出は円安の影響により好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は1,607百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は335百万円（同4.5%増）となりました。

(混合系製品)

混合系製品の国内向けは、アミューズメント業界の低迷の影響を受けるも、照明・自動車関連が好調に推移しました。海外向けは、国内同様照明・自動車関連が好調に推移しましたが、中国タッチパネル市場の低迷及び価格競争の影響を受け厳しい展開となりました。

その結果、当セグメントの売上高は265百万円（同3.7%減）、営業損失は11百万円（前年同期は損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は15,892百万円と前連結会計年度末に比べ、365百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ377百万円減少し11,043百万円となりました。これは、現金及び預金が409百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ11百万円増加し4,848百万円となりました。これは、有形固定資産が20百万円減少しましたが、投資その他の資産が36百万円増加したこと等によるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ255百万円減少し1,593百万円となりました。これは、その他に含まれている預り金が79百万円増加しましたが、未払金が191百万円、賞与引当金が92百万円、未払法人税等が63百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ6百万円増加し559百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が6百万円増加したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ117百万円減少し13,739百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が45百万円増加しましたが、利益剰余金が137百万円、為替換算調整勘定が23百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から436百万円減少し2,221百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は127百万円(前年同期比95.0%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益196百万円(同15.7%増)に対し、賞与引当金の減少額92百万円(同2.2%増)及びたな卸資産の増加額44百万円(前年同期は減少額22百万円)、法人税等の支払額71百万円(前年同期比53.5%減)などがあったものの、仕入債務の増加額71百万円(前年同期は増加額2百万円)及び減価償却費63百万円(前年同期比15.4%減)があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は304百万円(同99.8%増)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入2,222百万円(同0.0%減)があったものの、定期預金の預入による支出2,252百万円(同2.4%減)及び有形固定資産の取得による支出273百万円(前年同期は58百万円)があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は249百万円(前年同期比35.4%増)となりました。これは、配当金の支払額247百万円(同35.1%増)があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,907,904	7,498,613
受取手形及び売掛金	1,759,797	1,747,485
電子記録債権	214,716	220,191
商品及び製品	671,516	647,409
仕掛品	285,417	321,463
原材料及び貯蔵品	478,683	507,287
繰延税金資産	81,350	43,403
その他	24,554	60,914
貸倒引当金	△2,863	△2,859
流動資産合計	11,421,077	11,043,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,918,500	3,928,778
減価償却累計額	△3,115,950	△3,127,301
建物及び構築物(純額)	802,549	801,476
機械装置及び運搬具	6,339,248	6,333,892
減価償却累計額	△5,921,244	△5,941,480
機械装置及び運搬具(純額)	418,004	392,411
工具、器具及び備品	998,738	1,010,276
減価償却累計額	△834,238	△846,342
工具、器具及び備品(純額)	164,500	163,934
土地	2,165,745	2,165,745
建設仮勘定	276,374	283,041
有形固定資産合計	3,827,174	3,806,608
無形固定資産		
投資その他の資産	85,159	80,978
投資有価証券	858,684	923,958
繰延税金資産	51,570	24,092
その他	24,956	23,025
貸倒引当金	△10,237	△10,096
投資その他の資産合計	924,974	960,978
固定資産合計	4,837,308	4,848,566
資産合計	16,258,385	15,892,476

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,810	564,061
電子記録債務	480,497	495,233
未払金	390,608	199,604
未払費用	12,889	3,715
未払法人税等	102,484	38,833
賞与引当金	186,963	94,649
役員賞与引当金	30,500	7,125
その他	136,288	190,637
流動負債合計	1,849,041	1,593,862
固定負債		
役員退職慰労引当金	126,643	126,982
退職給付に係る負債	425,455	432,031
固定負債合計	552,098	559,013
負債合計	2,401,140	2,152,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,316,977	12,179,257
自己株式	△404,088	△404,088
株主資本合計	13,582,879	13,445,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,033	233,640
為替換算調整勘定	50,613	27,171
退職給付に係る調整累計額	△1,724	△1,768
その他の包括利益累計額合計	236,922	259,043
非支配株主持分	37,443	35,396
純資産合計	13,857,245	13,739,599
負債純資産合計	16,258,385	15,892,476

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,866,542	1,873,210
売上原価	1,158,251	1,155,300
売上総利益	708,290	717,909
販売費及び一般管理費	533,443	525,376
営業利益	174,846	192,533
営業外収益		
受取利息	2,694	2,603
受取配当金	2,834	2,942
為替差益	—	3,205
受取ロイヤリティー	4,777	4,231
その他	2,083	1,019
営業外収益合計	12,389	14,002
営業外費用		
売上割引	3,057	2,805
為替差損	7,376	—
支払補償費	—	5,959
持分法による投資損失	—	1,716
その他	0	—
営業外費用合計	10,433	10,481
経常利益	176,802	196,054
特別損失		
固定資産除却損	7,322	0
特別損失合計	7,322	0
税金等調整前四半期純利益	169,480	196,054
法人税、住民税及び事業税	8,582	26,558
法人税等調整額	44,183	45,164
法人税等合計	52,766	71,722
四半期純利益	116,713	124,332
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,884	123,499
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,829	832

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,274	45,607
為替換算調整勘定	△41,285	△24,805
退職給付に係る調整額	—	△47
その他の包括利益合計	△94,560	20,754
四半期包括利益	22,153	145,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,594	145,620
非支配株主に係る四半期包括利益	△441	△534

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	169,480	196,054
減価償却費	74,714	63,209
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△90,332	△92,313
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,875	△23,375
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,467	339
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,007	7,227
受取利息及び受取配当金	△5,528	△5,546
為替差損益(△は益)	6,582	△1,260
持分法による投資損益(△は益)	—	1,716
有形固定資産除却損	7,322	0
売上債権の増減額(△は増加)	△6,430	△2,328
たな卸資産の増減額(△は増加)	22,825	△44,153
仕入債務の増減額(△は減少)	2,659	71,603
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,659	△24,591
未払金の増減額(△は減少)	5,555	26,946
未払費用の増減額(△は減少)	△12,541	△8,697
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△16,524	△26,459
その他の流動負債の増減額(△は減少)	78,493	95,447
その他	△10,633	△41,535
小計	216,940	192,280
利息及び配当金の受取額	2,006	6,549
法人税等の支払額	△153,628	△71,451
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,318	127,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,306,758	△2,252,195
定期預金の払戻による収入	2,222,433	2,222,337
投資有価証券の取得による支出	△1,345	△1,292
有形固定資産の取得による支出	△58,785	△273,319
無形固定資産の取得による支出	△694	△453
固定資産の除却による支出	△7,286	—
貸付けによる支出	△407	△210
貸付金の回収による収入	313	330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,530	△304,804
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△183,520	△247,946
非支配株主への配当金の支払額	△654	△1,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,174	△249,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,012	△9,179
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△295,398	△436,065
現金及び現金同等物の期首残高	2,337,189	2,657,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,041,790	2,221,578

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い等の適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成29年3月29日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成29年3月29日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,590,907	275,634	1,866,542	—	1,866,542
セグメント間の 内部売上高又は振替高	51,713	—	51,713	△51,713	—
計	1,642,621	275,634	1,918,255	△51,713	1,866,542
セグメント利益 又は損失(△)	320,906	△1,043	319,863	△145,017	174,846

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△145,017千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,607,762	265,447	1,873,210	—	1,873,210
セグメント間の 内部売上高又は振替高	47,722	—	47,722	△47,722	—
計	1,655,484	265,447	1,920,932	△47,722	1,873,210
セグメント利益 又は損失(△)	335,247	△11,059	324,187	△131,653	192,533

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△131,653千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い等の適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成29年3月29日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号平成29年3月29日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。